

I. 2023 年度事業計画案

2023 年度の重点活動方針として以下の 4 点を実行します。

1. 校友会創立 130 周年記念行事の計画及び実行

130 周年を記念して記念式典、礼拝、イベント等を計画し校友会の活性化に繋がります。

2. 母校への貢献 — 「青山学院万代基金」への協力

青山学院校友会の目的は校友の親睦と母校への貢献であり、その校友には将来を担う在學生も含まれます。母校への貢献として昨年度に創設された「青山学院校友会奨学金」への寄付を今年度も継続して募り万代基金に協力します。

3. 校友会グリーンエリアの環境改善と利用促進

校友会は昨年度にグリーンエリアの整備改修、IT 環境の改善等を実施しました。また利用規則の改定、利用料金の減額等を行い、合わせて株式会社アイビー・シー・エスと協力して飲食の提供も行えるようになりました。今年度も学院や株式会社アイビー・シー・エスと協力して更なる設備の充実を行い、校友の交流活動の活性化に繋がっていきます。また、校友会公式サイト等を利用してグリーンエリアの予約ができるよう、より使いやすい環境にいたします。

4. 校友会活動のデジタル化の推進

コロナ禍により、代議員総会、支部長会、アイビーグループ代表者会議などの運営において、インターネットを利用したオンライン形式での対応が進みました。今年度はオンラインの利便性と対面の交流を合わせて校友会の活性化に繋がっていきます。

また校友会では、10 年間使用してきた公式サイトをリニューアルいたします。新たな機能を追加してより使いやすく校友の交流に役立つサイトにします。

上記の重点活動方針に加えて下記の活動を行います。

5. 在校生への支援

1) 就職活動支援 — 大学部会と協力して実行

校友会にとって大学在學生は準会員であると共に、将来の校友会活動を担う重要な要員でもあります。その大学生が希望に溢れて社会に巣立っていくために、大学の進路・就職部の指導方針のもと、引き続き多くの校友の協力を得て就職支援等の諸活動に注力します。

2) ボランティア支援、スポーツ支援、その他在校生による諸活動への支援

在校生のボランティア活動はサーバントリーダーシップを育み、スポーツの応援は愛校心を高めます。青山祭、相模原祭、文化祭、大学同窓祭など、在校生と校友が交流する機会を捉え、校友会はこれらの活動をオール青山の観点から支援します。また教育の国際化をさらに推進するため、海外支部と協力し

て学院のグローバル化に協力します。また支部やアイビーグループと協力して、駅伝チームや体育会系、文化系の学生活動を応援します。

6. 広報活動の充実

校友会の広報紙として『あなたと青山学院』を学院と共同制作し、年3回、22万人の校友に配付しています。電子ブック版の公式サイトへの掲載、学院と連携してウェブサイトや校友会 Facebook 等を通じて色々なニュースを発信していきます。

並行して、全国の校友が運営するお店を紹介する「青学商店街」は『あなたと青山学院』とウェブサイトの2つの手段を使って校友に紹介してきました。今年度もさらに掲載数を増やして校友のさらなる交流に繋げていきます。

7. 部会・同窓会、支部、アイビーグループ活動への支援

充実した校友会活動のためには、その構成団体である部会、学部・学科同窓会、国内・海外支部、アイビーグループの活発な活動が不可欠です。そのため各々の団体と協力し、活性化に繋がる仕組みづくりを目指すと同時に、必要な事業を行います。

8. 校友会員データの更新

部会・同窓会と連携し、逐次データの精度を高めていきます。また個人情報保護に配慮しながら様々な情報提供依頼に対応するよう努めます。学院と協力して将来の校友データベースの在り方を検討します。

9. 牧師を志す校友への就学支援

牧師、伝道者を志して神学校で学ぶ意志のある校友のために、その就学費用の一部を支援します。2016年度より施行してきましたが、規則整備を含め、この制度をさらに充実させます。

10. 校友会の今後について

校友会創立130周年を機に、未来を見据えて現状における問題点や解決すべき課題を抽出し、時代の変化に合わせた規約の改定や活動の見直しを行います。また、将来の校友会活動を担う人材の発掘、育成を行います。